

村長村政報告

(紙面の都合で、内容は省略してあります。)

村民のつどい

新春村民のつどいを1月19日に開催しました。

村民が選ぶ、村の10大ニュース発表は、ムービーシアター事業が593票の得票数でトップを飾りました。

この事業は、63年以來15回目となりました。村の素晴らしい歴史表になるものと思われま



▲村民のつどい

ニュートラック いいたて

今年2月末現在の状況は、開催日数が268日、入場者数延べ約6万1千人、売得金総額が14億6、372万円となっています。前

クオリティー・ライフ顕彰事業も4回目となり、村の田舎くらしや暮らしをデザインすることの大切さが少しずつ広まってきました。

また、今回は第5次総合振興計画策定に掲げているスローライフを基本として、「もったいない」をテーマに5人の方々から提言をいただき、計画づくりのヒントとなり、スローライフの考え方を理解して頂ける「つどい」でした。(本紙15ページに第3回目の提言内容を掲載)



▲ニュートラックいいたて

年度に比べ、開催日数、入場者数、売得金総額等それぞれ増加しています。

しかし、上山市においては競馬特別会計の累積赤字問題で、平成15年度の開催方法について協議が行われています。村としても上山競馬場の存続について心配しています。

ただ、上山市としては本場の競馬が中止になっても場外発売に移行したい意向があるようで、大きな影響がないことを願っています。

農業

1月に、平成13年の市町村別生産農業所得が発表されました。本村の農業産出額は36億2、000万円、県内20位でした。

BSEにより、肉用牛の価格が低下、前年から順位を1つ落としています。

この産出額は相双管内では相馬市、原町市、浪江町について第4位となっています。

また、農家一戸あたり生産農業所得は108万円、県内27位、一人あたり生産農業所得は94万円、45位と発表されています。

次に、平成14年度の水田農業経営確立対策の実績ですが、目標面積を大幅に上回る60・96％、112・％の転作が実施されています。

これに対し「飯館村生産組合」に約1、530万円の助成金が交付される見込みで、先に行われ

た「飯館村水田農業推進協議会」において、昨年と同様に米に代わる作物の振興などの財源として活用するため、基金として積み立てる議決を頂いています。

また、県より配分された15年度の生産調整は、14年度より29・85％多い、510％となっていますが、本年度の転作実績がこれをオーバーしており達成は充分可能であるものと思っています。

畜産

14年度の販売予想額は、和牛子牛、和牛肥育あわせて約5億1、470万円、前年比11・8％増加の見込みです。これは、BSEの影響が回復すると見込んでのもので

和牛肥育は、例年の9割まで価格が回復しております。酪農については、既存酪農家の減少分を新規就農者でカバーされており、販売総額2億60

0万円と平年並みです。

振興公社

2月21日と3月5日に理事会が開催され、消費税の問題と平成15年1月までの運営状況、平成15年度の事業計画及び予算の審議がされています。

未納になっていった消費税については、理事会を経て平成15年2月24日に申告納付がされています。

肥育事業については、昨年7月頃から幾分枝肉価格が回復傾向にあり、10月から比較すると1月までで1頭当たりの価格が5万8,000円程度上昇しています。

受精卵移植事業については、移植は54・2%と高い受胎率となっており、

ほんの森事業については、対前年比6%と僅かですが売上げが増加しています。

活性化施設の運営状況は懸念されていた「冬期

間の客足の鈍化」で、「きこり」についてはその現象が現れ、利用者が減少しています。「ステークハウス」は利用者の大きな減少はないようです。

住民基本台帳 ネットワーク システム

住民基本台帳ネットワークシステムは、昨年8月に第1次稼働を開始し、大きなトラブルもなく推移しています。

このシステムの本格的稼働となる第2次サービスが、今年8月25日スタートと決定しています。具体的には住民票の写しの広域交付、転入転出の特例処理、住民基本台帳カードの交付を新たに実施することにしており、本村も第2次稼働にむけ準備を進めていきます。

ごみ処理

焼却炉構造基準の改正に対応し、昨年12月から

ごみ収集体制の見直しを行ったところですが、3月から燃えないごみの収集を、全地域で月2回行うことにしました。その他にも分別の仕方、集積所の整備等についての要望がありますので、今後改善に努めていきます。



▲燃えないごみの収集が月2回に
(写真は燃えるごみの収集の様子)

福祉

高齢者の介護予防拠点施設「陽だまりの家」が、昨年12月末に完成しました。

当施設の活用方法等については、昨年11月に設立された「ボランティア



▲「陽だまりの家」

整備について、残すところ約1,000mという状況になりました。

県代行による事業採択を要望してきましたが、平成15年度より事業採択の見込みとなりました。

次に、長年の懸案事項であった主要地方道原町川俣線芦原地内の整備

ア井戸端会」で検討を重ね、原則「登録制」をとって、利用団体の自主管理で対応することにしました。現在16のボランティア団体から利用の申し込みがあり、登録をしたところでは、

なお、現在未申請の団体も、随時利用団体の登録は可能です。ぜひ積極的に活用してほしいと考えています。

道路

村道佐須大倉線の改良

農業集落排水事業「飯樋地区」

昨年12月に完了し、教員住宅等一部暫定供用しています。総事業費8億7千万円、対象戸数15

7戸、処理対象人数は710人です。



▲排水処理場

が現れている素晴らしい提言でした。各学校の代表議員も自分の考えをしっかりと述べ、将来の飯館村を担うにふさわしい子供たちであると頼もしく感じたところです。

飯館小学校改築は、平成14年度前倒し事業としての取り組みが決定し、現在精力的にその作業を進めており、今議会に校舎改築工事等の議案を追加提案し、可

現在、本格供用に向け集落排水施設への加入促進に努力しているところであり

教育

第3回こども議会が1月22日に開かれました。

今議会の提言は、ごみ問題、自然環境、高齢化社会等についていずれも村を愛する子供たちの気持ち



▲こども議会の様子

決されたところです。完成は平成16年3月の予定です。校舎は、当初計画通り、低・中・高学年別の分棟型にし、21世紀の学校にふさわしい学校作りを進めています。

公民館事業について、1月12日には、成人式が行われ、新成人92人が出席し、社会人としての自覚を持つことを誓いながら、大人の仲間入りをしました。

わが家の10大ニュース



▲改築予定の校舎

には、52件の保管依頼がありました。より多くの家庭から保管依頼を受けて、10年後20年後にその家族の方が「わが家の10大ニュース」を見て、その家庭の歴史が綴られるような事業にしたいと思っています。

子育て学習県民講座及び家庭教育学級を昨年の6月から2月まで、草野・飯館幼稚園を始めとし、



▲成人式

3小学校と中学校を会場として、延べ12回開催しました。保護者はもとより、数多くのご家族に参加いただきました。今後、学校・家庭・地域が一体となって、子供たちの教育を考えられる講座や学級に取り組んでいきたいと思っています。

青年交流事業については、村内青年で企画・立案をする実行委員会をつくり、活動を行っているところと

2月14日・15日には、村内外の青年20人の参加により、北海道で交流を深めてきたところです。この実行委員会は、単発でなく、多年にわたって交流事業の計画を考えており、今後の活動と成果を大いに期待しています。